

ボーン・上田記念国際記者賞 受賞者講演会

《第1部》 5月1日(土) 午前10時30分～11時50分

元朝日新聞社経済部次長（現在フリー）・村山祐介氏

「子どもたちのエクソダス 移民急増で試練の米バイデン政権」

《第2部》 5月1日(土) 午後1時30分～4時

産経新聞社東京本社編集局外信部編集委員・藤本欣也氏

「香港は死んだ～現場からの報告～民主派は敗れたのか？」

共同通信社外信部次長・芹田晋一郎氏

「習近平指導部の海洋戦略と日米中関係」

公益財団法人新聞通信調査会とニュースパーク（日本新聞博物館）は、優れた報道活動で国際理解に貢献した記者に贈られる「ボーン・上田記念国際記者賞」受賞者講演会を開催します。講演会は午前と午後の2部構成とし、午前の第1部は2019年度に受賞した元朝日新聞社経済部次長（現在フリー）の村山祐介氏が講演します。同氏の講演会は昨年実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となっていました。午後の第2部は、20年度受賞者の産経新聞東京本社編集局外信部編集委員の藤本欣也氏と共同通信社外信部次長の芹田晋一郎氏が講演します。

村山氏は、グアテマラなど中米3か国からメキシコを通して米国を目指す移民集団に同行取材してその実像に迫り、足かけ2年、ほぼ3か月にわたり7か国で現地取材。陸路で約1万5000キロを走破、移民のルートである未開のジャングルに入り、また荒波の中、小さなボートに移民集団とともに乗り込む航行もしました。

産経・藤本氏は、習近平政権による「中国化」政策のなかで民主化を求めて苦闘する香港を取材、迫力のあるルポルタージュを生み出しました。中国政府が2019年6月30日に香港国家安全維持法を施行した際、記者は香港に高度な自治を保障してきた「一国二制度」の死を意味すると断じ、軍隊でなく法律による中国の事実上の香港進駐だと洞察しました。

共同・芹田氏は、元海軍幹部、郁志榮氏のインタビューで、中国が2008年12月の初侵入の2年前から日本による尖閣実効支配を打破することを計画していた事実をつかみました。インタビューが行われたのは公船初侵入から10年あまりたってからですが、現場の暴走との見方を否定し、「指導部」の指示に基づいた侵入であることを確認し、単に過去の出来事の発掘というだけでなく、今日にいたる中国の意図や背景を突き止めたものと言えます。

ご講演を、ぜひお聴きください。

☞ ボーン・上田記念国際記者賞は、国際報道活動を通じ、国際理解の促進に顕著な貢献のあったジャーナリストに贈られる賞です。日米協力による自主的な世界ニュース通信網の確立に献身したマイルズ・ボーン元UP通信社（後のUPI通信社）副社長、上田碩三元電通社長の功績を顕彰し、1950年に設けられました。

講演会は、当館会員限定でzoomによるオンライン配信を実施します（無料）。

会員制度については、ホームページ (<https://newspark.jp/about/membership/>) をご覧いただくか、下記までお問い合わせください。

ニュースパーク（日本新聞博物館）

TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029 Eメール: hakubutsukan@pressnet.or.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館者のみなさまにマスクの着用などの対策をお願いしています。詳しくはニュースパークウェブサイトをご覧ください。

※新型コロナウイルス等の影響を考慮し、中止となる可能性もありますので、ご了承ください。

ボーン・上田記念国際記者賞 受賞者講演会 プログラム

《第1部》

10:00 聴講者受付開始

10:30 第1部開演

あいさつ (10:30~10:35)

元朝日・村山祐介氏講演 (10:35~11:35)

「子どもたちのエクソダス 移民急増で試練の米バイデン政権」

質疑応答 (~11:50)

11:50 終了

《第2部》

13:00 聴講者受付開始

13:30 第2部開演

あいさつ (13:30~13:35)

産経・藤本欣也氏講演 (13:35~14:30)

「香港は死んだ~現場からの報告~民主派は敗れたのか?」

共同・芹田晋一郎氏講演 (14:35~15:30)

「習近平指導部の海洋戦略と日米中関係」

<休憩>

質疑応答 (15:40~16:00)

16:00 終了

- ☞ **主 催** 公益財団法人新聞通信調査会 ニュースパーク (日本新聞博物館)
- ☞ **日 時** 2021年5月1日 (土) 第1部 午前10時30分~11時50分
第2部 午後1時30分~4時
- ☞ **会 場** ニュースパーク (日本新聞博物館)
メイン会場 2階イベントルーム (定員30人)
サテライト会場 3階多目的ルーム (定員20人)
神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター
- ☞ **定 員** 第1、2部各50人 (メイン会場は先着30人)
申し込み先着順・必ず事前にお申し込みください。
メイン会場満席後はサテライト会場での聴講になります。
- ☞ **参加費** 無料。ただし会員の方以外は、新聞博物館への「入館料」が必要です。
第1、2部ともに聴講する場合も、入館料は1回分のみ。
- ☞ **入館料** 一般400円▽大学生300円▽高校生200円
▽中学生以下無料 (税込み)
- ☞ **申し込み**
住所、氏名 (ふりがな)、年齢、電話番号、聴講を希望する回 (第1部、第2部または両方)、参加ご希望人数をお書きのうえ、「Eメール」 (件名は下記参照) または「往復はがき」でお申し込みください。
※Eメールでのお申し込みは、「ボーン賞講演会」と明記してください。添付ファイルはお受けできません。
※往復はがきは、返信部分にあて先をご記入ください。
※いただいた個人情報は、本講演会以外の目的には使用しません。ただし、当選して来館された方の情報は、新型コロナウイルス感染拡大防止の目的で保健所などの行政機関による調査に使用される場合があります。
- ☞ **送り先** 〒231-8311 横浜市中区日本大通 11
日本新聞博物館「ボーン賞講演会」係
<Eメール>npevent@pressnet.jp